

2022年国公立高校 国語入試問題で出題された作品

高校入試の国語の問題で出典となった作品を紹介します。小説、論説、古典、と分けて紹介しています。いつも好んで読む本とは少し異なるかもしれませんが、色々なジャンルの本に慣れておくといいと思います。

《小説》

『ヨンケイ!!』
天沢夏月 ポプラ社 蔵書○



慢性的な人数不足に悩む離島・大島の渚台高校陸上部に、奇跡的に男子4人のスプリンターが揃った。100×4リレーに挑むことになるが、メンバーの関係は最悪!しかし、次第に4人に変化が...

『櫓太鼓がきこえる』
鈴村ふみ 集英社 蔵書○



第33回小説すばる新人賞受賞作。相撲部屋の「呼出」という仕事を知っていますか?「呼出」は、土俵つくり、力士の名前を読み上げる、太鼓をたたく、などの相撲の裏方の仕事。そんな呼出の見習いとなった篤の奮闘・成長物語。

『雪のなまえ』
村山由佳 徳間書店 蔵書○



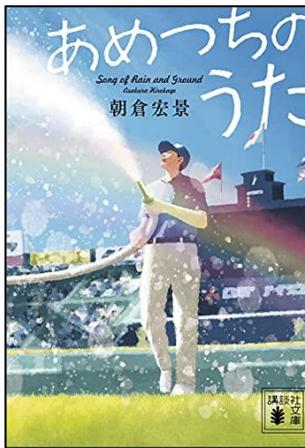
いじめにあい登校できなくなった小学5年生の雪乃は、父とともに曾祖父母が住む長野で暮らし始める。ほんとうの自分を受け容れてくれる場所を見つける。居場所探しの物語。

『水野瀬高校放送部の四つの声』
青谷真未 早川書房



高3の泰司は衝動的に一人で放送同好会を立ち上げた。そこへ入ってきた3人と共にNHK杯全国高校放送コンテスト出場を目指すことに。しかし、4人にはそれぞれ言葉にできない悩みを抱えていた。

『あめつちのうた』
ズラータ・イヴァシコワ 世界文化社



高校野球と言えば『甲子園』。その甲子園のグラウンドを整備する職人集団がいる。大地は高校卒業後、そこで働くことに!失敗続きの大地であったが、日々成長していく姿が感動をよぶ!

『赤と青とエスキース』
青山美智子 PHP研究所 蔵書○



2022年本屋大賞第2位。メルボルンの若手画家が描いた一枚の「絵画エスキース」。1枚の絵画をめぐる5つの愛の物語。

『零から0へ』
まはら三桃 ポプラ社



終戦後、聡一は家族を支えるため、鉄道の研究所へ入る。そこには、戦争中に戦闘機の設計や製作に関わり、多くの命を奪う結果を生んでしまったことを悔いる技術者たちがいた。

まはら三桃さん、額賀滯さんの作品はよく入試問題で扱われます!



『鉄のしづきがはねる』
まはら三桃 ポプラ社 蔵書○



『風は山から吹いている』
額賀滯 二見書房

『完パケ!』
額賀滯 講談社 蔵書○



映画を教える大学で、卒業制作の映画を撮る二人の青年の物語。映画を撮るのは、どちらか一人。性格が真逆の二人が、コンペで競う!